

脳血管疾患を起因とする事案の発生状況と 脳血管疾患対策ガイドライン策定について

国土交通省 自動車局
安全政策課

運転者の脳疾患に起因する事故報告の状況(H21～H28)

○運転者の疾病により事業用自動車の運転を継続できなくなった事案として、自動車事故報告規則に基づき報告のあったもののうち、原因が「脳疾患」との報告であったものの件数は下表のとおり。
 ○平成28年は、件数、死亡運転者数とも、最多の報告があった(平成21年以降)。

運転者の脳疾患に起因する事故報告件数

※括弧内は運転者が死亡した事案の件数

事業の種類	バス (乗合)		バス (貸切・特定)		タクシー		トラック		合計	
平成21年	9				14	(1)	10	(3)	33	(4)
平成22年	2		1	(1)	7	(1)	6	(2)	16	(4)
平成23年	12	(1)	4	(2)	16	(3)	11	(1)	43	(7)
平成24年	3		3	(1)	16	(1)	12	(3)	34	(5)
平成25年	2		4	(1)	14	(2)	10	(6)	30	(9)
平成26年	4				11	(1)	4	(1)	19	(2)
平成27年	8				16	(2)	14	(1)	38	(3)
平成28年	3		2		18	(3)	25	(8)	48	(11)

運転者の脳疾患に起因する事故報告の概要(H28)①

発生日時	業態	事故の原因	「衝突・接触」「中断」の別	運転者の状況	事故概要	運転者の年齢
1月5日	貨物	脳内出血	衝突・接触		トラック運転者が運行中に脳内出血を発症し、意識が薄れ、赤信号で停止している乗用車に追突した。	55
1月11日	貨物	くも膜下出血	衝突・接触	死亡	トラック運転者が運行中に気を失い、左側民家のブロック塀に衝突して停車した。本人は意識不明のため、ドクターヘリにて緊急搬送され、くも膜下出血と診断され、翌日死亡した。	56
1月13日	貨物	脳梗塞 (脳血栓)	衝突・接触		トラック運転者が運行中、踏切で停止し発進した際、急に体調異変(意識朦朧)となりセンターラインを越え、他の車両2台に接触した。	78
1月19日	法人タクシー	脳内出血による意識消失	衝突・接触		法人タクシーが空車で運行中、交差点を直進した際、運転者が脳内出血のため意識を失い道路左側の道路標識に接触し、歩道鉄柵と標識ポールに衝突し停止した。	64
1月21日	貨物	脳卒中	中断		トラック運転者が運行中、体に違和感を感じて車両を16分停止。その後回復し、運行を再開したが、4分後に右半身にマヒが出たため、コンビニエンスストアに停車。様子をみたが右半身の自由が効かないため運行を中断。救急車で病院に搬送された。	48
2月8日	貸切	脳梗塞	中断		貸切バス運転者が道の駅にて待機中に、ろれつが回らなくなる体調不良が発生。	51
2月18日	貨物	くも膜下出血による意識喪失	中断		トラック運転者がトイレに行くとき現場作業員に伝えて車両から離れ、その後トイレにて倒れてた。病院に搬送され、くも膜下出血と診断された。	49
2月29日	貨物	脳梗塞	衝突・接触		トラック運転者が運行中、脳梗塞を発症し、合流する側道から右折レーンまで飛出し、8台の自動車と接触した。	47
2月29日	貨物	脳梗塞	中断		トラック運転者が、時間調整のための待機中に、身体の異変に気づき運行を中断。救急搬送された。	69
3月8日	法人タクシー	脳内出血による右側部麻痺	中断		タクシー運転者が、出庫から約1時間後、具合が悪くなったため停車、運行を中断した。救急搬送され、脳内出血をおこしていると診断を受けた。	73
3月16日	貨物	高血圧性脳出血により意識を失ったため	衝突・接触		トラック運転者が運行中、意識を失い、公営住宅の塀に接触。停車しているところを荷受けの現場担当者が発見した。	51
3月19日	貨物	くも膜下出血	衝突・接触	後日死亡	トラック運転者が運行中、片側一車線道路を直進していた際、くも膜下出血により運転不能な状態となり、反対側車線脇の用水路に転落した。運転者は搬送先の病院で9日後に死亡した。	32
4月4日	貨物	くも膜下出血を発症したことによる意識消失	衝突・接触		トラック運転者が運行中、集荷先構内に右折進入した際、構内に駐車中のトラックに衝突した。近くにいた従業員が駆けつけた際には意識があり電話をかけようとしていたが、その後下を向きぐったりし、意識を失った。	44
4月12日	法人タクシー	乗務員の意識が薄くなった(脳いっ血)	衝突・接触		タクシー運転者が運行中、急に意識が薄くなり、歩道に乗り上げ左前方より街路樹に衝突し走行不能となった。	65
4月14日	法人タクシー	脳梗塞による身体麻痺	衝突・接触		タクシー運転者が運行中、前方の赤信号に気付いて停止しようとしたが、身体の麻痺の為、ブレーキ、ハンドル操作が不十分となり、減速はしたもののそのまま直進し、横断中の自転車と衝突した。自転車利用者が死亡した。	73
4月19日	貨物	脳内の毛細血管が切れ、大量出血したとの診断	中断	死亡	トラック運転者が、納品完了後に車両に乗車する際に、同乗者へ体の不調を訴えると同時に嘔吐し、その後に意識不明となった。病院に搬送後、死亡が確認された。	56

運転者の脳疾患に起因する事故報告の概要(H28)②

発生日時	業態	事故の原因	「衝突・接触」「中断」の別	運転者の状況	事故概要	運転者の年齢	
17	4月27日	貨物	脳梗塞における意識障害	衝突・接触		トラック運転者が運行中、意識が朦朧とし、バス停に停車中のバスに接触、その後マンション入口手前の縁石に当たり停車。運転者は運転続行不可能で救急搬送。	57
18	5月27日	法人タクシー	脳出血	中断	死亡	タクシー運転者が運行中、体調不良を感じバス停に車両を停車させ運行を中断。救急搬送された。運転者は死亡。	50
19	6月14日	法人タクシー	くも膜下出血	衝突・接触		タクシー運転者が乗客1名を乗せ運行中、くも膜下出血により意識喪失。左側歩道に乗り上げた拍子にハンドルが右に切れ、斜め右に進行しそのまま対向車線を跨ぎ、交差点先角にあった電柱・標識・民家の壁に衝突し停車。	47
20	6月14日	法人タクシー	進行性脳梗塞を発症したこと	衝突・接触		タクシー運転者が運行中、進行性脳梗塞を発症し、交差点で右折車線に停まっていた車両に、左後方から左側面にかけて衝突した。	66
21	6月16日	法人タクシー	被殻出血脳室穿破縦隔血腫を発症し、意識が混濁し運転操作不能になったと推定	衝突・接触	後日死亡	タクシー運転者が運行中、前を走行していた車を追い越し、そのまま対向車と正面衝突した。運転者は、5分間程、事故の処理をしようとしていたようだが、意識を無くし、意識不明のまま死亡。	61
22	6月16日	個人タクシー	高血圧症による脳内出血	衝突・接触		タクシー運転者が、客待ち停車中に体調不良となったようで、発進後に走行途中速度が低下したり、一時停止したりと不自然な挙動となった。その後ドアを開けて嘔吐、市内を迷走し、停車車両に衝突してそのまま走行した。脳内出血のため本人に事故の記憶は無し。	72
23	6月17日	貨物	脳腫瘍、症候性てんかんと診断された	衝突・接触		トラック運転者が運行中に意識を失い、対向車線をはみ出し橋の欄干に接触したのち路外に逸脱した。その後ドライバーは意識を回復したものの運転が困難なため救急搬送された。	38
24	7月16日	法人タクシー	脳内出血	中断		タクシー運転者が、自分でドアを開け車外へ出たところ倒れた。車外で倒れているところを歩行者に発見され、救急車で搬送された。発見時、意識はあるものの、呼びかけに対し言葉が出なかった様子だった。	68
25	7月21日	貨物	脳梗塞	中断		トラック運転者が配達先に到着後に荷卸していた際、突然意識がなくなり地面に倒れ、救急搬送された。	60
26	7月29日	貨物	脳腫瘍	衝突・接触		トラック運転者が運行中に病気が発症し、意識がなくなったものと思われ、そのまま約100メートル走り続けて対向車線を横切り歩道に乗り上げたあとデリネーターポールを倒し、フェンスに前部右角を衝突させ停止した。	41
27	7月29日	個人	脳出血	衝突・接触		タクシー運転者が運行途中、目眩をおこし、気がついた時には相手方車両と衝突していた。	60
28	7月30日	貨物	くも膜下出血	衝突・接触	死亡	トラック運転者が運行中に意識不明となり、トンネル内で追越し車線をはみ出し右壁に接触、その反動で左壁に衝突し停止した。運転者は病院に救急搬送された。運転者は死亡。	59
29	8月18日	貨物	くも膜下出血	衝突・接触	死亡	トラック運転者が運行中、疾病により意識を失い運転操作不能となり、そのまま右へ進み中央分離帯に衝突、ガードレールに沿うように進行した後、停止した。運転者は死亡。	40
30	8月25日	乗合バス	くも膜下出血	中断		乗合バス運転者が降車口である前扉をあげた直後に急に意識を失い、運転座席からバス通路側の左側に上体が倒れ込み、異変に気付いた降車旅客が救護を行うとともに、救急車の手配を行った。くも膜下出血であるとの診断であった。	51
31	8月30日	貨物	くも膜下出血	衝突・接触	死亡	トラック運転者が運行中に意識を失い車両が制御不能となり、左側側壁に接触したあと中央分離帯に乗り上げ停止。病院へ緊急搬送されたが、既にくも膜下出血により心肺停止。死亡した。	53
32	9月7日	乗合バス	突発的体調変化(脳幹出血)	中断		乗合バス運転者が運行中、突然の体調変化のため車両を停止、運行を中断し、乗客に救急車の手配を依頼してそのまま意識を失った。	51

運転者の脳疾患に起因する事故報告の概要(H28)③

発生日時	業態	事故の原因	「衝突・接触」「中断」の別	運転者の状況	事故概要	運転者の年齢	
33	9月7日	法人タクシー	脳内出血による視界の異常	衝突・接触		タクシー運転者が運行中、右側と左側に駐車車両があり、その間を進行しようとしたが、右側の視界に異常が発生し、右側に駐車している車両に接触した。脳内出血によると思われる。	64
34	9月13日	乗合バス	脳出血	衝突・接触		乗合バス運転者が運行中、脳内出血により突然意識が朦朧となり、中央分離帯に接触後、前方を走行していた軽乗用車に接触し、異常に気付いた旅客が運転席にて急ブレーキを扱い急停車した。	64
35	9月15日	貨物	くも膜下出血	中断	死亡	納品先からトラックが到着していないと連絡があり、捜索手配をしていた所、駐車中車内の運転席後方のベッドで死亡していたのが発見された。	47
36	9月23日	貨物	脳腫瘍(アテローム血栓性脳梗塞)による脳疾患発症での意識消失	衝突・接触		トラック運転者が運行中に意識を失い、歩道を乗り越え、道路左側の草むらへ進入しその先のガードレールに衝突した。	48
37	10月11日	法人タクシー	脳内出血(程度は軽い)	中断		タクシー運転者が運行中に体調の異変に気づき、車を停止させ、自ら営業所へ連絡を入れたが会話がうまく出来ない状況だったため、管理者が救急車を手配。	49
38	10月12日	法人タクシー	脳出血による意識低下	中断		タクシー運転者が運行中に体調の異変(偏頭痛)を感じたため、安全な場所に停車するし、運行を中断した。脳内出血の重傷。	61
39	10月31日	法人タクシー	くも膜下出血	衝突・接触	死亡	タクシー運転者が運行中、意識を失って側壁に接触して停止した。運転者は搬送先の病院にてくも膜下出血により死亡。	64
40	11月2日	法人タクシー	脳梗塞	衝突・接触		タクシー運転者が運行中、赤信号で停車していた車両につづき停車しようとした際、ブレーキを踏もうとしたが右足が動かずサイドブレーキを掛けようとしたが間に合わず追突した。更に当該車両を移動させるため後退したところ右足が動かずそのまま後続車に衝突した。	63
41	11月8日	貨物	くも膜下出血	中断	死亡	運行中のトラック運転者と連絡がとれなくなり、捜したところ、PAの駐車場にて運転席に座ったまま助手席側に横たわり、意識不明の状態で見送された。その後死亡が確認された。	51
42	11月9日	貨物	くも膜下出血による意識障害	衝突・接触	後日死亡	トラック運転者が運行中、くも膜下出血による意識障害の発症により側溝に左フロント脱輪し停止した。運転者は後日死亡。	64
43	11月18日	法人タクシー	脳梗塞	中断		タクシー運転者が運行中、体調の異変に気づき路肩に停車、運行を中断した。運転者は、脳梗塞による右半身麻痺と診断された。	73
44	11月19日	貨物	脳幹部出血	中断	死亡	トラック運転者が運行中、体調に異変を感じ路肩に停車し、その後意識を失う。運転者は死亡した。	54
45	11月24日	貨物	休憩中に脳幹部出血になった。	中断		運行中のトラック運転者と連絡が連絡が取れなくなり探したところ、車両の下に倒れていた運転者が発見された。意識がなかったため救急搬送。接触やブレーキの痕跡がなかったため、休憩(停車)中に発症したと思われる。	66
46	12月3日	貸切バス	くも膜下出血	中断		貸切バスの運転者が、休憩地において体調不良(激しい頭痛)のため運転継続不可能となった。	41
47	12月14日	貨物	脳腫瘍による意識喪失と思われる	衝突・接触		トラックが運行中、ガードレールと標識の土台に運転席下部が衝突し左路肩に落ちて横倒しになった。なお、事故現場にブレーキ痕は見当たらなかった。	52
48	12月31日	法人タクシー	左被殻出血	衝突・接触	死亡	タクシー運転者が運行中、意識不明となり追突事故を起こした。運転者は死亡。	63

[従来]

「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」

運転者の健康に起因する事案を防止するために事業者が実施すべき方を全般的に整理

運転者の健康状態の把握

主要疾病の早期発見に有効と考えられるスクリーニング検査として脳ドックを推奨するに留まる

結果を踏まえた対応

● 医師からの意見等を勘案した就業上の措置の決定

→脳血管疾患を含め一般的な処置を記載

● 点呼時の運行管理者の判断や対応

→点呼時における乗務中止とすべき症状(例:しびれ、ろれつが回らない等)を示しているが、脳血管疾患を原因とする症状なのか他の疾病を原因とする症状なのか区別されていない

● 乗務中の注意事項や対応

→疾病の前兆や自覚症状への対応を示しているが、脳血管疾患を原因とする前兆や自覚症状なのか他の疾病を原因とする前兆や自覚症状なのか区別されていない

脳血管疾患について健康状態を把握するための具体的な手順を追加

特に脳血管疾患についてわかりやすく記載

[新規]

「自動車運送事業者のための脳血管疾患対策ガイドライン」

脳血管疾患対策について事業者が取り組みやすくなるよう具体的な手順を提示

運転者の健康状態の把握

● 脳血管疾患対策の必要性、正しい理解

- ・脳血管疾患の概要(種類、症状、後遺症等)
- ・脳血管疾患と他の疾患や生活習慣との関連性
- ・脳血管疾患の予防方法

● 脳血管疾患早期発見のための脳健診の活用

- ・脳健診の概要、脳健診受診までの基準、脳血管疾患取扱規程の作成
- ・脳健診対象者の抽出から受診
- ・脳健診の結果を踏まえて実施すべき対応(異常なし・経過観察・治療、精密検査)の把握

● 脳健診の結果必要となる精密検査・治療の実施

- ・確定診断のための精密検査の実施方法
- ・精密検査の結果を踏まえた必要な治療の実施方法

結果を踏まえた対応

● 脳健診、精密検査、治療等の結果を踏まえた対応

- ・治療状況や症状に合わせた適切な勤務形態の重要性
- ・脳健診等を受けた者に対する事業者・運行管理者の役割